

## プラス 0.54 で決着

平成 30 年 1 月 26 日に開催された「第 158 回社会保障審議会介護給付費分科会」において、介護報酬改定案について答申されました。

主な内容としては、

- 地域包括ケアシステムの推進
- 自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現
- 多様な人材の確保と生産性の向上
- 介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保

となっています。

又、具体的内容として「介護医療院の創設」、「居宅介護支援事業所の主任ケアマネの管理者要件（3年の経過措置あり）」、「リハビリテーションのアウトカム評価」「福祉用具貸与の価格の上限設定」「通所介護・通所リハの基本報酬のサービス提供時間区分の見直し」「訪問介護の人員確保のための裾野の拡大」等、各事業所に於いては現行と比較して検討されているところだと思えます。

今回、「0.54 のプラス改定」としながらも、サービスによっては基本報酬の減額になっています。「医療・介護の役割分担と連携」によるインセンティブ（評価加算）をどう取っていくかが焦点となっていると言えそうです。

### 介護報酬改定の改定率について

改定時期	改定にあたっての主な視点	改定率
平成 15 年度改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自立支援の観点に立った居宅介護支援（ケアマネジメント）の確立</li> <li>○自立支援を指向する在宅サービスの評価</li> <li>○施設サービスの質の向上と適正化</li> </ul>	▲2.3%
平成 17 年 10 月改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○居住費（滞在費）に関連する介護報酬の見直し</li> <li>○食費に関連する介護報酬の見直し</li> <li>○居住費（滞在費）及び食費に関連する運営基準等の見直し</li> </ul>	
平成 18 年度改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中重度者への支援強化</li> <li>○介護予防、リハビリテーションの推進</li> <li>○地域包括ケア、認知症ケアの確立</li> <li>○サービスの質の向上</li> <li>○医療と介護の機能分担・連携の明確化</li> </ul>	▲0.5% [▲2.4%] ※ [] は平成 17 年 10 月改定分を含む。
平成 21 年度改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護従事者の人材確保・処遇改善</li> <li>○医療との連携や認知症ケアの充実</li> <li>○効率的なサービスの提供や新たなサービスの検証</li> </ul>	3.0%
平成 24 年度改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅サービスの充実と施設の重点化</li> <li>○自立支援型サービスの強化と重点化</li> <li>○医療と介護の連携・機能分担</li> <li>○介護人材の確保とサービスの質の評価</li> </ul>	1.2%
平成 26 年度改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消費税の引き上げ（8%）への対応                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本単位数等の引き上げ</li> <li>・区分支給限度基準額の引き上げ</li> </ul> </li> </ul>	0.63%
平成 27 年度改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化</li> <li>○介護人材確保対策の推進</li> <li>○サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築</li> </ul>	▲2.27%
平成 29 年度改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護人材の処遇改善</li> </ul>	1.14%
平成 30 年度改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケアシステムの推進</li> <li>○自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現</li> <li>○多様な人材の確保と生産性の向上</li> <li>○介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保</li> </ul>	0.54%

厚生労働省 第 158 回社会保障審議会介護給付費分科会資料 より

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検索

## 平成 30 年度介護報酬設定の概要

- 団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向けて、国民 1 人 1 人が状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、平成 30 年度介護報酬改定により、質が高く効率的な介護の提供体制の整備を推進。  
平成 30 年度介護報酬改定 改定率：+ 0.54%

### I 地域包括ケアシステムの推進

■ 中重度の要介護者も含め、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることができる体制を整備

#### 【主な事項】

- 中重度の在宅要介護者や、居住系サービス利用者、特別養護老人ホーム入所者の医療ニーズへの対応
- 医療・介護の役割分担と連携の一層の推進
- 医療と介護の複合的ニーズに対応する介護医療院の創設
- ケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保
- 認知症の人への対応の強化
- 口腔衛生管理の充実と栄養改善の取組の推進
- 地域共生社会の実現に向けた取組の推進

### II 自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現

■ 介護保険の理念や目的を踏まえ、安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスを実現

#### 【主な事項】

- リハビリテーションに関する医師の関与の強化
- リハビリテーションにおけるアウトカム評価の拡充
- 外部のリハビリ専門職等との連携の推進を含む訪問介護等の自立支援・重度化防止の推進
- 通所介護における心身機能の維持に係るアウトカム評価の導入
- 褥瘡の発生予防のための管理や排泄に介護を要する利用者への支援に対する評価の新設
- 身体的拘束等の適正化の推進

### III 多様な人材の確保と生産性の向上

■ 人材の有効活用・機能分化、ロボット技術等を用いた負担軽減、各種基準の緩和等を通じた効率化を推進

#### 【主な事項】

- 生活援助の担い手の拡大
- 介護ロボットの活用の促進
- 定期巡回型サービスのオペレーターの専任要件の緩和
- ICTを活用したリハビリテーション会議への参加
- 地域密着型サービスの運営推進会議等の開催方法・開催頻度の見直し

### IV 介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保

■ 介護サービスの適正化・重点化を図ることにより、制度の安定性・持続可能性を確保

#### 【主な事項】

- 福祉用具貸与の価格の上限設定等
- 集合住宅居住者への訪問介護等に関する減算及び区分支給限度基準額の計算方法の見直し等
- サービス提供内容を踏まえた訪問看護の報酬体系の見直し
- 通所介護の基本報酬のサービス提供時間区分の見直し等
- 長時間の通所リハビリの基本報酬の見直し

厚生労働省 第 158 回社会保障審議会介護給付費分科会資料 より

※詳しくは「協議会ホームページ」の「介護保険最新情報→厚労省会議」に UP していますのでそちらをご確認ください。

## 事業報告 I 平成 29 年度第 3 回スタッフセミナー

### 「認知症医療センターと初期集中支援」 ～朝倉地区での取り組みについて～

訪問介護部会 ラ・パス訪問介護事業所 有馬 真智子

平成 30 年 1 月 30 日（火曜日）に朝倉市総合市民センターにて平成 29 年度第 3 回スタッフセミナーが開催されました。今回は福岡県認知症医療センター朝倉記念病院センター長の末次基洋氏を講師に迎え講演をしていただきました。今年 36 年目を迎える朝倉記念病院の「もの忘れ外来」が平成 21 年 7 月に開始され、その後平成 26 年 12 月に福岡県認知症医療センター指定後は月平均物忘れ外来新規受診者が倍の 13 名になったとの事でした。医療介護関係者向けの研修会を 3 回、認知症高齢者家族の地域住民向け研修を 10 回開催され沢山の方が認知症について学ばれているとのことで認知症医療センターの役割とその必要性が分かりました。事例では投薬の難しさや認知症と思い治療していたら認知症ではなかったという診断の難しさを知りました。常用してはいけない頭痛薬として服用されている「CMCP」は排泄悪く蓄積し意識レベルを下げ転倒のリスクが大きいと聞き薬の過剰摂取がいかに危険であるかということを知りました。訪問介護員は利用者様の日頃の様子や変化を細かく観察しケアマネや家族へ報告することが大切だと再認識した講義でした。



講師の末次基洋氏

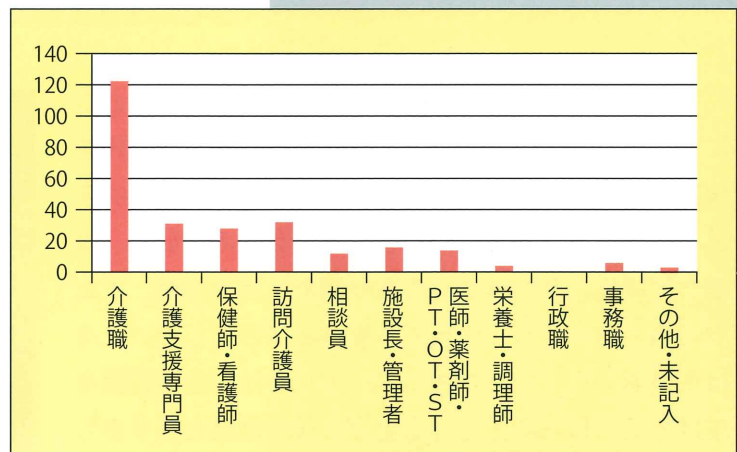


# 平成 29 年度 第 3 回スタッフセミナーアンケート結果

2018/1/30 町民ホール

## (1) 参加者の状況

参加者数 266 名		
一般		
1	介護職	121
2	介護支援専門員	31
3	保健師・看護師	28
4	訪問介護員	32
5	相談員	12
6	施設長・管理者	16
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	14
8	栄養士・調理師	4
9	行政職	0
10	事務職	6
11	その他・未記入	2
合 計		266



## (2) アンケートの集計

### ① 勤務されている業種

業 種	
居宅介護支援	31
訪問介護・入浴	22
訪問看護	5
訪問リハビリ	3
通所介護	24
通所リハビリ	13
支援センター	0
居宅療養管理	0
グループホーム	20
介護福祉施設	27
介護保健施設	38
小規模多機能	5
病院・医院	1
行政	6
福祉用具貸与・住宅改修	4
その他	7
未記入	4
合 計	210

### ② 現在の職種

職 種	
介護職	84
相談員(病院・施設・福祉用具貸与)	16
訪問介護員	13
介護支援専門員	36
看護師	22
保健師	5
OT	3
PT	6
ST	0
医師	0
薬剤師	2
栄養士	3
調理師	1
管理者	7
事務職	5
行政職	2
その他	5
未記入	0
合 計	210

### ③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	9
2	1年以上3年未満	36
3	3年以上5年未満	32
4	5年以上10年未満	52
5	10年以上	79
6	未記入	2
合 計		210

### ④ 講義内容について

アンケート回答者数 247 名		
1	非常に良かった	47
2	良かった	111
3	どちらともいえない	20
4	あまり良くなかった	0
5	良くなかった	4
6	未記入	28
合 計		210
アンケート回答率 78%		

## (3) ご意見をお聞かせ下さい

① 講義内容に関するご意見	認知症施策の動きがよくわかりました。初期集中支援の話をもっと聞きたかった。
	認知症の判断は本当に難しいと感じました。しっかりとした診療が出来る機関の充実の必要性を感じました。
	薬を飲み続ける事で、転倒やふらつきにつながる事を初めて知れたので良かった。
	事例の説明を何パターン聞かせて頂きとても参考になった。
② 今後のスタッフセミナーの内容・在り方	家族より認知症の相談があった時は、その背景をよく調べる事が大事だと思った。
	朝倉地区の行政と協議会代表者とのパネルディスカッションのようなこれからのベクトルを協働できるようなセミナー。
	専門的な事もいろいろ聞きたいですが話中心の講演もたまには聞きたいです。
	楽しい職場づくり、福祉用具(介護負担軽減)、口腔ケア。
③ 協議会への要望等	朝倉地区における医療・介護の連携の在り方。
	介護保険の見直し等の決定があれば内容の勉強会をして欲しい。
	前列の方が携帯を扱っておりとても不愉快でした。
	認知症初期集中支援チームのアプローチの仕方を詳しく知りたかったです。
	明日から実践できるようなもので、結果が付いてくる内容であれば、モチベーションUPにも繋がると思います。

## 事業報告Ⅱ 褥瘡予防研究会

### 第4回講習会 「褥瘡予防につなげる排泄ケア(紙おむつの選び方・使い方)」

居宅介護支援部会 ケアプランサービスクラーク 矢野 直美

第4回褥瘡予防講習会は、業務市場・在宅市場ともにNo1シェアのユニチャーム株式会社の長村隆野氏を講師に迎えての勉強会が行われました。具体的な内容としては排泄用具の役割、適切なおむつの選び方、排泄ケア概論、自立排泄への取り組み、商品説明、オムツの当て方、オムツの当て方実技を学びました。元々は失禁用の道具だったオムツも現代では、生活範囲を広げ生活の質を向上させる自立支援の道具となりました。個別化の時代で商品の多様化が進んでいるなか、未だに20年前からある普通の尿取りパットが一番売れていることに驚きました。お客様へ選び方を教える知識も必要なこと、肌トラブル予防には、ふだん目に見えないオムツの中の「ずれ」を意識することなど大切だと感じました。最先端の高機能パッドを実際見て触って、摩擦やズレ力を低減する構造を知り、とても関心を持ちました。

会員の皆様のご協力により、今年度の褥瘡予防講習会を無事終えることができました。今後も「褥瘡ゼロを目指す」ために共に学んでいきましょう。一年間ありがとうございました。



## 事業報告Ⅲ 部会活動報告

### 訪問看護部会

甘木中央病院訪問看護ステーション 管理者 柴田 恵

訪問看護部会は現在4事業所で年4回の定例会と研修会を開催しています。定例会では情報共有や意見交換、各事業所の運営状況を共有し、各会議等の参加状況等を把握しています。訪問看護部会は、この部会活動を通し定期的に各事業所の方と顔を合わせることで横の連携が取れやすく、いつでも連絡相談等ができることが魅力です。

今年は医療と介護の同時改訂の年でもありますので、部会内の連携をさらに強化し、ご利用者様の思いや願いに寄り添う看護を提供していけるよう協力していきたいと思っております。



## Hobby Box

～夢は親子三代で～

(株)グッド・リンク グッド・リンク朝倉 吉開 翔悟

私の楽しみは魚釣りです。子供のころに父親と色々な所に魚釣りに出掛けました。

子供ながらに大きな釣竿を一生懸命持ち、引きに負けないように釣り上げていました。初めて40cmを超える黒鯛を釣り上げた時の嬉しさは今も忘れません。

今でも父親と二人で魚釣りに出掛けます。釣り場に向かうまでの車中では昔話で盛り上がり、そんな時間も楽しく過ごせます。

魚釣りが終わり、その日釣れた魚をつまみながら飲むお酒は格別に美味しく感じます。

私も父親になりまだまだ子供は小さいですが、いつの日か親子三代で魚釣りに出掛けることが夢であり、今後の楽しみになっています。その時は、助手席に座り、子供に運転してもらいながら昔話で盛り上げられたら幸せだと思います。



## My Way

甘木中央病院 訪問リハビリ 作業療法士の安智子さん



安智子さんは、長崎県佐世保市出身で地元の高校を卒業後、柳川リハビリテーション学校に進学し甘木中央病院に実習に行く機会があり、幅広く様々な診療体制に魅力を感じ、『ここに就職したい』と意志を強く持ち希望通り就職されました。親戚に脳性麻痺の従妹が居たことで、幼いころから障がいのある人と携わってきたことが今の安智子さんの原点になり、自分の進路を強い気持ちで決めたそうです。就職2年目に訪問リハビリの業務に携わる事になり、仕事に対してより責任感を持ち業務に取り組む姿勢が、周

りからも高く評価されるようになりました。数年が経ち夫である、安勇喜さん（アルファ俊聖）と職場結婚され可愛い息子2人にも恵まれ、仕事と家事の両立に日々奮闘しておられます。入社18年目になり後輩もたくさん増え、頼られる事が多くなり、頼られると断れず熱くなる性格から後輩への思いも熱く、作業療法士の楽しさや自立支援に向けたかかわりを在宅視点で指導しておられます。今の自分に何が出来るのか、もっとやれる事、改善出来る事はないかなど日々模索し仕事への意識を高めておられるそうです。休日は家族との時間を大事にし、ドライブや温泉へ行ったり、佐世保へ帰省し両親や兄、妹、姪っ子に会いに行くなどプライベートも充実させ、メリハリをつけ明日への活力にされているそうです。朝倉介護保険事業者協議会の訪問リハビリ部長もされ、自ら表舞台に立つなど、今後も多くの活躍とリハビリ界を担う存在となられる事を期待したいと思います。

紹介文：福祉用具事業所 スキップ朝倉店 黒岩 大輔

次回は安さんからの紹介で「ケアプランサービスきらく荘 矢野 直美 さん」です！

## 介護スタッフリレーコラム

### 「笑顔と安心」

グループホームさくら 国本 由美子

介護の世界に飛び込んではや、6年が過ぎました。それまで全く違う仕事をしていた私は介護というものを全然知らないばかりか自分の祖父母とも4年しか一緒に暮らしておらず、2人共70代で亡くしている為80、90代のお年寄りと過ごすことは初めてでした。ましてや、認知症という病気がどういう病気なのかほとんど知りませんでした。

最初は、先輩方の仕事を見て真似をすることから始まりました。介助やレクリエーションをしていくなかで、もちろん失敗も沢山ありましたが、少しずつ自分のものになり、だんだん自身もついてきました。色んな研修や勉強会にも参加して、知識も増えていると思います。介護福祉士の資格も取ることができました。

まだまだ6年間しかこの仕事をしていませんが、同じように見えても日々違う毎日を、入居様が穏やかに過ごして頂けるよう少しでも多くの笑顔を引き出し安心される存在でありたいと思います。それを目標にこれからも頑張っていきたいと思っています。

### 徒然日記

ほがらかデイサービスアルファ俊聖 西藤 明美

#### 輝く笑顔をひき出すために

介護職として働き初めて早くも20年の月日が流れようとしています。

大人数の通所から認知症のデイサービスに異動となりました。初めは大人数で出来なかったことが、異動により利用者様とのかかわりが密に出来ると喜んでいましたが、少人数でかかわれるからこそ、その方により深くかかわれる喜びや反対に難しさを感じたり、認知症の方の思いを察する難しさに涙した日もありました。『認知症』とは奥深く日々勉強です！またいろんなことをご利用者様に教えて頂いています。

ご利用様が、手慣れた手つきで畑仕事や漬物作りなどに取り組まれている時の、満面の笑顔・輝く汗・弾む会話。また、餅つき大会ではご夫婦・親子・お孫さんと参加され、今までにない優しくもあり頼もしい何とも言えない表情を見せられます。このような素敵な場面に出会えたことに感謝し、ご家族愛を見て心から感激涙するこ

ともあります。『認知症＝何も出来なくなった。』と思いがちですが、まだまだ輝く可能性をいくらでも秘めておられるご利用者様達です。そんなご利用者様・ご家族の方の笑顔をひき出せるスタッフでありたいと思います。



## 編集後記

2月は冬季オリンピックが平昌で開催されました。日本勢の活躍に皆さんテレビから離れられなかったのではないのでしょうか。利用者と一緒に…と思いつつ、仕事そっこのけで見てた職員もいるとかいないとか。私はスピードスケート女子金メダルの小平選手が韓国の李選手に寄り添う姿がとても感動的でした。

さて、もうすぐ4月を迎えます。気候も暖くなり、お花見にレジャーに、明るい新年度にしたいですね。「私達の事業所はこんなイベントしました！」とか明るい話題も募集しています。是非、PRがてら写真付きで投稿ください！お待ちしております！

(広報部：真田)

#### 事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局  
〒838-0068 福岡県朝倉市甘木 199-1  
医療法人社団 俊聖会  
介護老人保健施設 アルファ俊聖  
TEL 0946-22-5551 FAX 0946-24-4688

#### 編集／発行所

朝倉介護保険事業者協議会  
〒838-1315 福岡県朝倉市入地 2262-1  
社会福祉法人 朝倉恵愛会  
いしずえ荘 在宅部  
TEL 0946-23-8823 FAX 0946-23-8813  
印刷／井上総合印刷株式会社